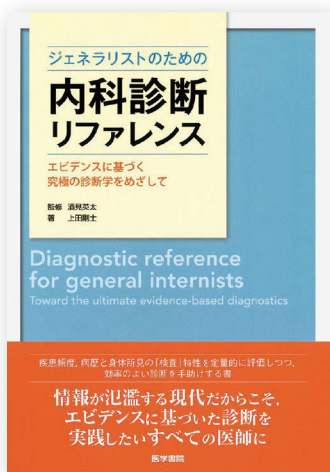


今月の連載関連本

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート (p.299) に
ご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。



ジェネラリストのための内科診断リファレンス エビデンスに基づく究極の診断学をめざして

酒見英太＝監修 上田剛士＝著

本体 8,000 円＋税／B5 判・736 頁／医学書院／2014

今月の特集の企画者としてタッグを組んだお2人が、「勉強の方法」について語り合った「ゲストライブ」(p.162)。本書は、上田先生の“勉強”の集大成とも言える貴重な1冊。特集 p.234、連載 p.272 も併せて読みたい。

疫学、病歴、身体所見、検査という診断学の一連の流れを網羅し、エビデンスに基づいた診断とは何かを追求する。殊に病歴・身体所見を深く掘り下げ、リファレンスをあげて「多い／少ない」「大きい／小さい」という抽象的な説明でなく、極力具体的な数字を示して解説。診断に悩む症例に遭遇した際に、役に立つ。ジェネラリストにこそ求められる診断学として、内科診断のみならず整形外科、眼科・耳鼻科なども収載。



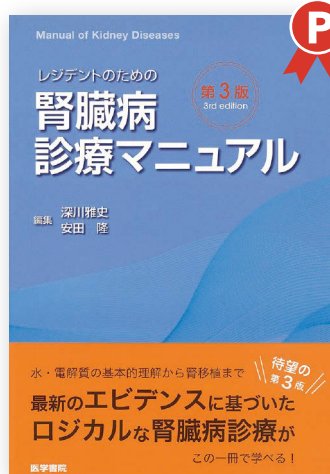
ホスピタリストのための内科診療フローチャート 専門的対応が求められる疾患の診療の流れとエビデンス

高岸勝繁＝著、清田雅智＝監修

本体 8,000 円＋税／B5 判・694 頁／シーニュ／2016

同じく特集企画者で「ゲストライブ」にもご登場いただいた高岸先生の“勉強”の集大成。特集 p.180・221 も併せて読みたい、実臨床に役立つエビデンスガイドブック。

診療の流れとポイントがわかりやすいフローチャート形式で、多くの総合診療医が対応に悩む疾患を中心とした圧巻の130項目を収載。「1. フローチャートで大きな診療の流れを認識」→「2. フローチャートに対応した本文の記載（エビデンス、他）を確認」の手順で、すぐにも活用できる。



レジデントのための腎臓病診療マニュアル (第3版)

深川雅史、安田 隆＝編

本体 5,200 円＋税／A5 判・644 頁／医学書院／2017

連載「野獣のリアル勉強法」(p.278)の今月のテーマは「腎臓内科」(九鬼隆家先生)。

腎臓病診療マニュアルの決定版、待望の第3版が刊行！最新のエビデンスに基づいて、水・電解質から腎移植まで腎臓病診療の基本を網羅する好評のスタイルはそのままに、さらに使い勝手が向上。高齢患者の診かた、他診療科との連携など“今知りたい”トピックを満載。目の前の患者の何を診て、どう治療すべきか、ロジカルな腎臓病診療の進め方がわかる1冊。